

FUJITSU Hybrid IT Service
Digital Application Platform
データベースサービス
セキュリティホワイトペーパー

2023/06/01

富士通株式会社

目次

はじめに.....	2
1 セキュリティの役割および責任.....	3
2 技術的ぜい弱性の管理.....	4
3 情報セキュリティインシデント管理.....	5
3.1 セキュリティインシデント管理.....	5
3.2 ヘルプデスクサービス.....	5
4 順守.....	6
4.1 提供リージョン.....	6
4.2 適用法令及び契約上の要求事項の特定.....	6
5 暗号化による管理策の利用方針.....	7

はじめに

「FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform データベースサービス セキュリティホワイトペーパー」
(以下、本書) では、FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform データベースサービス (以下、
本サービス) で提供する情報セキュリティ対策について説明します。

本書について

- 本書は、富士通が情報提供のみを目的に作成したものです。
- 本書は、作成した時点における富士通の見解を反映したものです。予告なく変更されることがあります。
- 本書のいかなる内容も富士通の保証、表明、義務、確約等を意味するものでなく、本書の内容の正確性、特定の目的への適合性を含め、富士通は本書に関するいかなる保証も行いません。また、本書の利用により生じたいかなる状況についても、その理由の如何を問わず、一切の責任をおいしません。
- FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform を利用するお客様との契約条件は「FUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス利用規約」等に定める通りであり、本書はその一部にはなりません。
- 本書の内容の全部または一部を無断転記することを禁じます。
- 本書に記載されている会社名、製品名、などは、それぞれ各社の商標、登録商標、製品名です。

輸出管理規制

- 本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出関連法規等をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

1 セキュリティの役割および責任

本サービスは、データベース機能を搭載した仮想サーバ（以下、データベース仮想サーバ）を、サービスとしてポータル及びAPIを通じて提供し、「ポータル及びAPIまでのコンポーネント（本サービス管理を構成するコンポーネント）とサービス運用」に責任を有しています。

ポータルやAPIを通じて作成したデータベース仮想サーバ上に保管したデータベースは、利用者が任意に変更・削除できます。お客様の利用環境内のリソースについては、お客様の責任となります。

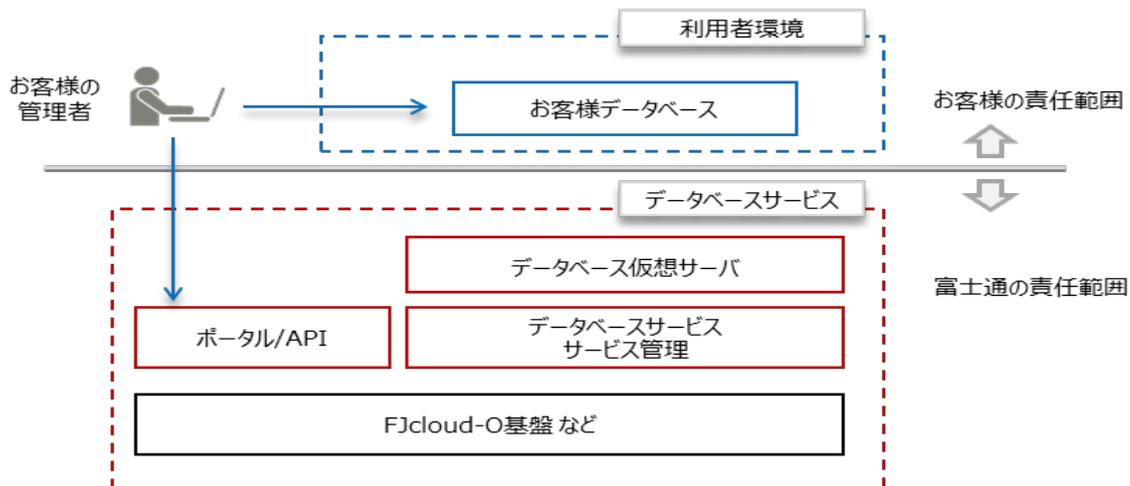


図 1-1 本サービス における責任範囲

2 技術的ぜい弱性の管理

富士通では、「Open Web Application Security Project」などの安全なコーディングを行うためのガイドラインを参考に Web アプリケーションを開発しています。併せて、クロスサイトスクリプティング対策やインジェクション対策の不備など Web アプリケーションのぜい弱性に対応するための監査制度に則った情報セキュリティ検査を Web アプリケーションの開発プロセスに組み込んでいます。

3 情報セキュリティインシデント管理

3.1 セキュリティインシデント管理

本サービスでは、情報セキュリティインシデントは、お客様からの問い合わせやサービス基盤のトラブルなどのインシデントと共通の管理ポリシー、プロセス、および手順を定めています。情報セキュリティインシデントが発生した際にも、これに従って情報セキュリティに関するイベントの識別と通知を迅速かつ確実に行っています。お客様が利用しているリソースに影響がある可能性のあるインシデントやデータ侵害の可能性のあるインシデントの発生時には、メール等の手段により通知を行っています。

なお、通知は本サービスにおけるトラブルのほか、お客様が禁止事項に抵触した際の本サービス側での対応結果やお客様の利用環境内で問題が発生している可能性のある事象を検知した確認依頼も含まれます。

お客様が利用しているリソースにおいて、トラブル発生を富士通が確認した場合、その通知については 1 時間以内を目標としています。

本サービスでは、過去の障害情報を蓄積・分析することにより、トラブルの再発防止に継続的に取り組んでいます。

3.2 ヘルプデスクサービス

本サービスでは、FUJITSU Hybrid IT Service のヘルプデスクサービスをご提供します。

サービスの内容については、「FUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス ヘルプデスクサービス仕様書」からご確認をお願いします。

4 順守

4.1 提供リージョン

提供リージョンは、「FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform データベースサービス仕様書」からご確認をお願いします。

4.2 適用法令及び契約上の要求事項の特定

本サービスは、お客様からお預かりした大切な情報を法令に沿って適切に取扱い、お客様の権利および利益を保護しています。その上で以下の項目等を「FUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス利用規約」で明示しています。

- ・ お客様がクラウドサービスに登録および入力したお客様固有の情報などに関する秘密情報の取扱い
- ・ お客様が契約に違反していると判断した場合に、富士通が該当する情報の送信を遮断すること、および表示する情報を削除または不表示とすること
- ・ 準拠法や管轄裁判所に関する情報（リージョン特約条項で合意した内容が適用されます¹⁾）

なお、捜査当局や裁判所等の機関からの開示要求については、富士通において定められたプロセス・手順により判断を行っております。

¹ 日本リージョンにおいて、「FUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス リージョン特約条項」で合意した場合、準拠法は日本法、契約に関する訴訟については、東京地方裁判所が第一審の専属的合意管轄裁判所となります。

5 暗号化による管理策の利用方針

本サービスを利用するお客様の環境で扱うお客様の情報資産については、お客様の責任で管理策を実施していただきます。なお、お客様がポータルや API へアクセスする場合のインターネット通信は FUJITSU Hybrid IT Service が暗号化しています。本サービスで取り扱う情報資産については、当社のセキュリティ管理規程及び実施基準などの規程に基づいて、情報資産の重要度に応じてストレージや通信の暗号化を適切に実施しています。